

【発行】大船渡仮設住宅支援事業

〒022-0004

岩手県大船渡市猪川町字長洞 62-1

大船渡仮設住宅支援事業事務局内

TEL : 0120-628-638

E-Mail : ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp

Web : http://ofunatocity.jp

大船渡仮設住宅 支援員新聞

No.20
2014.

3月号

はまらい

今まで温かいご支援ありがとう！

アフロヘアーが目立つさわやか男子!! 森大樹さん(通称…アフロの森さん)とメガネの似合う綺麗な女性!! 夏井真由美さん。お二人は遠野まごころネットに所属していたときから、市内の仮設住宅でお茶会やちよつとした手遊びなどのイベントを行ってきました。今年度で大船渡での支援活動を終えるということで、16ヶ所の仮設団地でお茶つこ会を開きました。

良い香りが広がり、テーブルには、おやつや住民のおばあちゃん手づくりの赤カブのお漬物が並んでいます。森さんはいつもお茶会の時、毎回入れたてのコーヒーを住民の方々に振る舞うんだとか。ですが森さん、コーヒーを入れるのは得意ですが、飲むのは苦手。住民の方も「ありや! なんだべえ。」と大笑いしていました。「そういうばあんだこの前テレビさ出でたの見だつたよ。その頭だつたからすぐ森さんだつて分かっただよ!」と言われ、森さんも嬉しそう。みなさんとても楽しそうに話つこ語りをしているようでした。



▲ 左が森さん、右が夏井さん。お二人はこの春ご結婚されます

大豆沢仮設では、森さんと夏井さんのほっこりエピソードがあるといえます。仮設住宅が完成した2012年。末崎地区の仮設団地の中で大豆沢仮設だけクリスマスツリーがありませんでした。そのことを支援員が森さんに話すと、森さんはすぐにクリスマスツリーを送ってくれたそう。届いたのは約2メートルある立派なツリーで、住民の方々と一緒に飾り付けを行いました。綺麗に飾られたツリー

アフロの森さん最後のお茶会

あの人にインタビュー
関わった全ての方々に
感謝しています

大船渡仮設住宅支援事業

事業統括 新田恵市

コールセンターマネージャー 西風光男

Q 支援事業が始まった当初の事業はどんな感じでしたか?

新田さん…この事業は「誰でしょうか?」から始まりました。住民の方とコミュニケーションを取れるまでに2、3ヶ月を要した支援員も多かったです。当時は住民さんや自治会、NPO、市などいろんな部分でご心配をお掛けしたという苦い思い出ですね。

西風さん…私たちもどんなことが始まるんだろうと不安が大きかったですね。

新田さん…そういえば西風さんは面接場所にたどり着けませんでしたね。

(笑)

西風さん…そうでしたね! で、ヤマダ電機で待ち合わせしましたね。

新田さん…そこで車中面接しました(笑) 自分でも仮設を探すのに苦労しましたからね。当時ナビにも表示され

の写真を森さんへ送ると、次の日に森さんと夏井さんが見に来てくれて、とても喜んだそうです。

震災から約3年間支援活動をしてくださった森さんと夏井さん。またいつでも大船渡にお越しください。本当にありがとうございます。



▲ 手振りを交えて、会話を盛り上げる住民さん。森さんも聞きます



▲ 左が新田統括、右が西風マネージャーです

ませんでしたから。集会所の後ろに物資がたくさん並べてありましてね。それを事業が始まってすぐ、人海戦術でなんとか配っていききました。また、立ち上げの月は支援員に寄せられた相談件数が、300件もあったんです。

談が多いです。
Q 住民の方々はどのように悩みを
発散しているのでしょうか?

新田さん…最近ですね、集会所にいらつしやる住民さんの滞在時間が増えているような気がします。よくですね、集会所に支援員がいるだけで安心するって声を頂きます。毎日の声かけを待ってる人や、土日挟んで月曜を心待ちにしているおばあちゃんもいる。それは支援員と少しでも話をして、悩みをお話ししたいという住民の方が多いということなんです。

支援員は特殊な教育を受けている訳ではないので出来る事は限られるのですが、そういったニーズがあれば傾聴の勉強会をしたり、微力でもストレスの軽減に繋がりたいと思っています。

西風さん…自分から集会所に行くのは気が引けるけど、支援員がきっかけになってイベントに参加するようになった方もいるね。

Q 現在ほどのような思いで事業を運営していますか?

新田さん…まず自治会長さんには、いろんなお仕事や活動を兼務されている方が多く、この時期は住民さんも退去されたり役員の方も入れ替わったりと、本当に苦労されていると思います。

西風さん…当初も自治会長さんいろいろ手助けして頂きましたね。

新田さん…本当すごいと思います。自治会長さんのお手伝いを微力ながらしていきたいと思っています。

最後に、この事業は本当にいろんな方と一緒にやらせて頂いているんです。我々だけでは絶対できない。連携なくては存在しない事業だと思っています。皆さんに感謝ですね。

今月のスマイル

ともだち100にん
できるかな?!



猪川町のY・Sセンター内にある「つどいの広場」は火曜日から土曜日の10時～16時まで無料で開放しています。就学前までの幼児とその家族が一日に20組ほど訪れ、土曜日にはパパと一緒に来ることもあるんだとか。室内にはボールテントやおもちゃのキッチン、ほかにもたくさんのおもちゃや絵本が備えてあり、遊びに来た子供たちは大はしゃぎ。また授乳室やベビーベッドも常備してあって、兄弟連れでも安心して遊べる場になっています。

「家では狭いけどここにきて

広々と遊ぶことができて助かります。子どもにもお友達ができるし、ママ同士の交流の場にもなっていますね。」と話す方もいらつしやいました。また、市内の子育て支援団体の資料があるなど子育てに関する情報の共有の場にもなっています。ベビーマッサージの講習会や、月に一度働きたい子育てママの出張おしごと相談会も開催しているそうです。是非、訪れて見てはいかがでしょうか? つどいの広場について詳しく知りたい方は、大船渡市社会福祉協議会(0192-27-0001)まで。

支援員ニュース おじゃましまーす

支援員になって良かった事は!?

支援員全員にアンケート実施

◀ 長洞仮設団地で、支援員が住民の方と一緒にプランターに花の苗を植えました



震災からちょうど3年が経過しました。皆さんの生活にはどんな変化が生まれたのでしょうか? はまらい最後となる今回は、ひと区切りとして支援員がこれまでの業務の中で得たエピソードや思いを、アンケートをとってみました。以下抜粋です。

①支援員になってよかった、うれしかったことは何ですか?

- ・復興事業に参加できた。
- ・90歳になる住民の方が、戦争体験や人生の生き方



▲ 毎日の巡回やイベントを通して、信頼関係も生まれました

よ」と言われた時。
②支援員の仕事で大変だった事は?
・支援員業務では出来る事が限られるため、問題を解決できずもどかしかった。

をこっそり教えてくれた
・「談話室に本当に救われた。ここがなかったらどうなっていたかわからない」と本当に笑顔で話してくれたこと。
・ボランティアの方々へ、お礼として贈る手芸品を作っているお年寄りの方々から「日々の生き甲斐」が出来たと言われた。
・なかなか顔を出さなかった住民さんが、談話室に初めてお茶をしに来てくれたのが嬉しかった。

・駐車場やゴミ出しのトラブルやマナー違反があっても、チラシ等で注意を促す事しか出来なかったこと。
・外に(談話室の役割をしていた)テントがあった頃、雨や風の時が一番大変だった。
③住民の方々へ今後の願い
・震災でものすごくつらい思いをした分、ものすごく幸せになってほしい!
・住民さん方が同じ復興住宅に入れたらいいなあ。そうすれば孤独になったり家にこもってしまったりしないと思う。
この他にも沢山の素敵なエピソードがありました。私は広報で新聞を作るようになってから、いろんな団地の住民の方とお話できたことが嬉しかったですね。

仮設住民の方々がいて支援員も頑張る事が出来ます。一緒に前を向いていきましょう!

はまらい最終号!

1年8ヶ月 ありがとうございました

大船渡仮設住宅支援事業の支援員新聞「はまらい」は、今回で1年と8ヶ月を迎えました。そして今回で、「はまらい」は終了となります。支援員の仕事を広く知ってもらいたい。また各仮設住宅でのイベントや取り組み等を紙面に載せることで、他の仮設でもできることを提案しコミュニケーションの発展を図り、仮設住宅の今を多くの方に知ってもらおう。こういった目的で、支援員新聞はまらいが始まりました。

1号目では、今では大船渡から撤退されたチャイルドファンドの船戸さんのインタビューや、支援員の一日の仕事を紹介しましたね。大船渡へ観光に来た方を気仙の食でもてなす活動を行う「大船渡おもてなし隊」や読書ボランティアの「おはなしころりん」の方など、いろんな方のお話も聞かせていただきました。

仮設の話では、後ノ入仮設団地で行うメンズサロンや大立仮設団地のめんこいサロン、お祭りや手芸など様々なイベントを取り上げました。その中で、新聞に載せたイベントを参考に新たに同じようなイベントを始めた団地もあって、この新聞が役に立った!と感じる事もあります。新聞を作り始めて数ヶ月経った頃には「はまらいと言う新聞を作っています」と言えば「ああ!あの記事読んだよ!」「試してみたいよ」という声が住民の方からもいただけるようになりました。どれも住民の皆さんのご協力のおかげです。

はまらいの発行は今回で終了しますが、支援事業はまだ続きます。今後も皆さんのお手伝いをさせていただきますので、引き続き、よろしく願いいたします。

今まではまらいを読んでいただいた皆さん、ありがとうございました。



- ①7号掲載。杉下仮設でのイベントの様子。
- ②10号掲載。木町仮設周辺の満開のサクラ。
- ③9号掲載。つばきまつり開催中の椿の花。
- ④12号掲載。仮設の方々がグラウンドゴルフに参加し、河川敷でプレイボール。
- ⑤9号掲載。館下仮設が昨年の3月11日に行った、ワックスボウルの点灯。



ご意見・ご感想は、こちらまで。
大船渡市猪川町字長洞 62-1
大船渡仮設住宅支援事業事務局内
TEL : 0120-628-638
E-Mail: ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp